

「産業精神保健」投稿規定

(2023年2月改訂)

1. 本誌は本会の主旨にかなった「原著」「総説」「短報」「意見」「動向」「資料」「活動報告」の原稿を募集します。ただし、他誌に発表もしくは投稿している原稿は掲載しません。
2. 投稿は原則として筆頭執筆者が日本産業精神保健学会会員である場合に限ります。
3. 本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開しています。
4. 原稿にはページ番号と行番号の両方を必ず付けてください。
5. 投稿原稿の字数は、読者の理解に十分で、その内容に応じた適切なものとします。他分野の専門家にも理解できるよう、表現は平易になるよう努めてください。規定7・8に示した最初の2枚を除いた上で、要旨・英文抄録・図表を含んだ字数が、「原著」「総説」「動向」「資料」は12,000字以内、「活動報告」「短報」は8,000字以内、「意見」は3,200字以内とします。
6. 図表はA4用紙1枚に1点のみ添付して下さい。本文中の説明のみで理解できる内容は図表にはしないで下さい。1点につき400字として換算します。また表は「表1」「表2」のように、図は「図1」「図2」のように表示し、説明は日本語で行って下さい。
7. 本誌に投稿された原稿は、著者名と所属を伏せて審査します。必要に応じて編集委員・編集同人以外の専門家に査読を依頼することもあります。投稿規定に沿わない原稿は返送させていただくことがあります。
8. 原稿の1枚目に①表題（あれば副題）、②著者全員の氏名、③投稿時の所属と住所、④連絡担当者の電話番号、⑤（できる限り）連絡担当者のファックス番号、⑥英文表題、⑦英文著者名、⑧英文所属名を記載して下さい。
9. 原稿の2枚目には①表題、②原稿の種類、③図表の枚数を記載して下さい。
10. 「原著」「総説」「短報」「活動報告」では、原稿の3枚目に論文の要約を400字以内で「要旨」として記載して下さい。「要旨」の最後に日英それぞれ5つ以内のKey wordsをあげて下さい。これにはIndex Medicusなどを参照して下さい。
11. 「原著」は、原稿の4枚目に200語以内の英文抄録を必ずつけて下さい。その他の原稿種別にも英文抄録をつけることが望まれます。
12. 続いて本文を記載して下さい。原著の場合は、「はじめに」「方法」「結果」「考察」（必要なら「謝辞」「文献」）の順に記載して下さい。脚注は使用しません。
13. 対象被験者の人権、告知同意、匿名性について十分配慮して下さい。
14. 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載して下さい。なお、ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従って下さい。

下記の場合を除き、人を対象とした研究の場合には、研究倫理審査委員会による承認を受けていることが必要となります。

 - ・侵襲あるいは介入あるいはヒトゲノム・遺伝子解析研究を伴わない症例報告である。
 - ・既に匿名化されている情報（特定の個人を識別することができないもの）のみを利用した研究である。
 - ・論文や公開されているデータベースやガイドラインのみを用いた研究である。
 - ・動物実験を用いた基礎的研究で、特定の患者情報を利用しない研究である。
15. 統計用パッケージを使用した場合は、その名称を明記して下さい。統計解析にあたっては、解析手法・統計値・自由度・有意水準など必要な情報を記入して下さい。
16. 文献は引用順に番号をつけ、本文の引用箇所の肩に1), 2, 3), 4-6) のように番号で示して下さい。
17. 文献の記載は、以下の規定に従って下さい。
 - (1) 第4著者以降は、「他」または「et al」として下さい。
 - (2) 雑誌名は、医学中央雑誌収録雑誌略名表、Index Medicusに従って略称で記載して下さい。

(3) 雑誌では、著者名、表題、雑誌名、発行年(西暦)；巻：頁－頁、のように記載して下さい。原則として号数は記入しません。オンラインジャーナルの場合は、doi (デジタルオブジェクト識別子) も記載して下さい。

(4) 単行本では、著者名、表題、編者名、書名、発行地名：発行所名、発行年(西暦)：頁－頁、のように記載して下さい。

(5) インターネットウェブサイトでは、制作者名、ページ名、改正日、アドレス(閲覧日)のように記載して下さい。ただし、極力、原論文からの引用に努めて下さい。

(6) 記載の詳細は以下の例を参照して下さい。

雑誌論文例：

- 1) 加藤正明. 産業精神保健活動の歴史. 産業精神保健 1993; 1: 3-10.
- 2) Bromet EJ, Parkinson DK, Curtis EC, et al. Epidemiology of depression and alcohol abuse/dependence in a managerial and professional work force. J Occup Med 1990; 32: 989-995.

オンラインジャーナル例：

- 1) Mabon SA, Misteli T. Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. PLoS Biol 2005; 3: 120-130. doi: 10.1371/journal.pbio.0030374.

単行本例：

- 1) 関口憲一. 産業における精神衛生, 総論. 佐藤 孝三, 宮本忠夫編：現代精神医学大系 23 B, 社会精神医学と精神衛生 II. 東京：中山書店, 1979：121-144.
- 2) Kasl SV. Surveillance of psychological disorders in the workplace. In: Keita GP, Sauter SL, editors. Work and wellbeing: an agenda for the 1990s. Washington, DC: American Psychological Association, 1992: 73-95.

インターネットウェブサイト例：

- 1) 厚生労働省. 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き～メンタルヘルス対策における職場復帰支援～. 2009年3月23日改訂. <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/101004-1.html> (2014年3月1日閲覧)

18. 略号等は最初に使用する段階で正式名を添えて下さい。

例：次に研究用診断基準 Research Diagnostic Criteria (RDC) の開発は……

なお本誌では以下の一般的略号を用います。この場合は正式名不要です。

N, P, NS, df, SD

19. 単位は原則として SI 単位を使用して下さい。

20. 投稿された原稿は採否にかかわらず返却できませんので、あらかじめご了承下さい。

21. 受理された原稿については、その著作権は日本産業精神保健学会に帰属します。掲載された論文の一部を著者自身が他に引用することは妨げないものとします。原稿の内容・表現等については著者の責任であり、発行者ならびに編集委員会はその責めを負いません。

22. 著者校正は1回のみ行います。なお原稿の文体・表現・表記について編集委員会で修正させていただくことがあります。また迅速な出版に資するため、論文データは、受理後に指定するメールアドレスへ期日までに送信して下さい。

22. 別刷りをご希望の場合には50部単位で著者校正時にお申込みください。別刷り代は投稿者の負担とします。

23. 投稿方法は、下記の汎用ファイルで作成したファイルを投稿用メールアドレスへお送り下さい。ファイルサイズは10MB以下とします。

・本文ファイル：Microsoft Office Word

・図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG

・投稿用メールアドレス：JSOMH.mail@gmail.com

24. 投稿時に学会ホームページ (<http://www.jsomh.org/>) から投稿票データをダウンロードの上、必要事項を記入し論文に添付して下さい。

※なお、当分の間、英語論文は日本語規定に準ずるものとします。